



# 広島県支部だより

今年も残すところあとわずかとなりました。

広島県支部では、今年も各方面の方々に協力をいただきながら、計画した活動を予定どおり実施することができました。まず、廿日市市のもみのき森林公園での森林活動では、毎年7月に実施していた「山・林・SUN」活動を、夏の猛暑による熱中症リスクを考慮して開催時期を1ヶ月前倒ししました。そのため6月の梅雨時期の開催となり、雨による中止が懸念されましたが、当日は雨が止み心地よい天候の中、もみのき森林公園の事務局、関係団体、ボランティアスタッフの皆さんにご尽力いただき、無事終えることができました。

8月は、フィリピン植林フォーラムが開催され、広島県支部から6名の方が参加しました。現地では、植林活動や子どもたちとの交流を通じて日本とフィリピンとの絆を深めることができ、参加者の方から「異文化に触れあう大切さ、環境保護の重要性について学べた」等の感想をいただきました。初日に停電が発生するなど、日本の生活とは違った不便なことや困難な状況にも仲間と協力して対処できることや改めて日本のインフラ環境の素晴らしいことを再認識するなど、参加者皆さまの貴重な経験となったのではないでしょうか。

個人のみならず、企業・団体も厳しい経済状況にかまかわらず、オイスカにご賛同、ご支援を賜り深く感謝しております。オイスカは地球環境保全、防災・減災など現在直面している課題の解決に地道な努力を続けていきます。引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

## オイスカ広島の森づくり活動 [2025年5月17日(土)]

「オイスカ広島の森づくり」活動を、5月17日(土)に廿日市市の「県立もみのき森林公園」で開催しました。オイスカのスタッフ、森林指導員の計26名が参加し、6月21日に同公園で開催する「山・林・SUN」活動に向けた準備作業として、枯れ木の伐採や下草刈り等、フィールドの事前確認・整備を行う予定でしたが、あいにくの雨と雷で、安全面を配慮しながら限られた時間での活動となりました。また千葉県の県木イヌマキ3本の植樹を行うとともに、同公園にご協力をいただき、丸太切り体験などスタッフの実技研修を行いました。

活動を継続することで、公園内の「オイスカの森」が整備され、森が明るく元気になるとともに、オイスカの活動や森に興味を持っていただける方が増えていけば何よりです



作業開始前のミーティング



もみのき森林公園副園長から丸太切りの説明



丸太切り体験



森林指導員から植樹の説明



植樹の様子



イヌマキ記念植樹の看板前で記念撮影

## 山・林・SUN活動（2025年6月21日（土））

「山・林・SUN」活動を6月21日（土）に「県立もみのき森林公園」で開催し、今年は親子連れ13組、四国研修センター海外研修生、スタッフと合わせて計77名の方に参加していただきました。

子どもたちは、森林指導員からのこぎりの使い方を教わりながら下刈りに汗を流し、切った木は綺麗に棚積みにし、雑木の引き倒し体験など森づくりの大切さを学びました。午後は親子で、丸太の間伐材を輪切りにして木の実等と組み合わせて「森の工作」を楽しみました。

子どもたちが木々と触れ合うことで、森や自然環境に関心を持ってもらえると嬉しいです。



山・林・SUN 活動スタート



下刈の様子



下刈の様子(四国研修センター海外研修生)



引き倒しの様子



丸太切りの様子



森の工作



## フィリピン植林フォーラム28（2025年8月23日（土）～8月30日（土））

関西研修センター主催のフィリピン植林フォーラムが開催され、中国電力ユニオン、中電環境テクノス(株)、(株)エネルギアL&Bパートナーズの協力をいただき、広島県支部より6名の方に参加していただきました。

フィリピン北部のアブラ州にあるオイスカアブラ研修センターを拠点に、1週間の行程でマンゴローブ、ナラ、マンゴー、ランブータン、ユーカリ、ティックトゥリー1,550本を植林したほか、子供の森計画実施校の子どもたちや現地の人たちとの交流などを行いました。



ユニオンの森 マングローブの植樹



東洋紡の森で植林活動



ネクスタの森で植林活動



CFP校(子供の森計画) で植林活動

#### 四国・中部日本研修センター来広（2025年11月26日（水）～27日（木））

四国研修センターと中部日本研修センターで研修をしている7カ国10名の研修生が広島を訪れました。

1日目はピースボランティアの橋光生さんの案内により、平和記念公園、広島平和記念資料館、原爆ドームで平和学習を行いました。研修生は原爆の悲惨さを知り、戦争のない平和な世界を心から願いました。その後、サッカースタジアム「エディオンピースティング広島」に見学に行きました。当日はスタジアムの無料開放日だったこともあり、ピッチ近くの席に座りスタジアムの細部を見ることができ、研修生は日本の建築技術の高さに感心し、写真撮影する等、目を輝かせて見学していました。夜は、広島県支部の幹事、オイスカ本部苅田顧問、松村前会長にも参加していただき交流会を開催しました。会では研修生による研修発表があり、研修生は日本で学んだ有機農法や養鶏、食品加工などの経験を活かしたいと帰国後の夢を語ってくれました。

最後にフィリピンの民族ダンスを披露してくれた研修生と一緒に参加者みんなで踊り、賑やかな楽しい交流会となりました。交流会後は、平和大通りを彩るひろしまドリミネーションを楽しんでもらいました。

2日目は世界遺産宮島を見学し、厳島神社の参拝作法やおみくじをする等、日本の文化に触れる貴重な体験をしていただきました。

オイスカは、「すべての人々が、国籍、民族、言語、宗教、文化の違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り、育てようとする世界を理想とする」という理念を掲げています。お互いの理解が深まり、研修生が平和の思いをそれぞれの国へ広めてくれることを願っています。



ピースボランティアの橋さんによる平和記念公園の案内



原爆ドーム前で



エディオンピースウェイング広島を見学



バッケンモーツアルト懇親会場にて交流会  
海外研修生の研修発表

研修生による民族ダンス披露



研修生との交流を楽しんで、みんなで記念撮影



2日目は、世界遺産宮島へ



### [お知らせ]

- 書き間違えの年賀ハガキ、未使用ハガキが家の中に眠っていましたら、広島県支部事務局までお送りください。  
また、未使用切手、ベルマーク、インクカートリッジ（ブラザー、キャノン、エプソン）も受付けています。
- お送りいただいたハガキなどは、「子供の森」計画で子供たちが行う植林のための苗木やスコップ、じょうろに姿を変え役立てられています。  
ハガキは来年2026年2月末まで受付けています。ベルマーク等の締め切りはなく、一年を通じて受付けていますのでよろしくお願いします。

### (編集後記)

この1年間、広島県支部の諸活動を実施できましたのも、長年にわたる賛助会員や協力して下さる方々のおかげと感謝しております。

引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

(公財) オイスカ広島県支部事務局  
Tel (082) 242-7804 Fax (082) 242-4706  
事務局長 塩出 雅行  
Email : masayuki.shiode@energia-lbp.co.jp  
担当 中仁谷 亮佑  
Email : ryosuke.nakaniya@energia-lbp.co.jp  
担当 宮本 招子  
Email : shoko.miyamoto@energia-lbp.co.jp